

紀の川市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

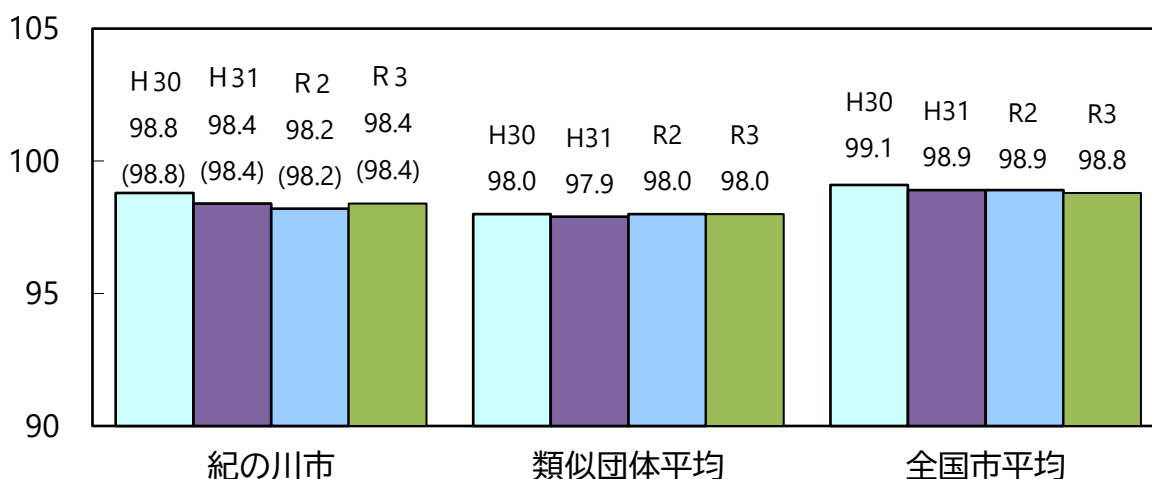
区分	住民基本台帳人口 (令和3年1月1日)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人 件 費 率 B / A	(参考) 令和元年度の人件費率
令和 2 年度	人 61,094	千円 36,490,396	千円 916,957	千円 4,809,171	% 13.2	% 14.0

(2) 職員給与費の状況（普通会計予算）

区分	職員数 A	給 与 費				(参考) 一人当たり 給与費 B / A	(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和 2 年度	人 508	千円 2,007,788	千円 319,223	千円 824,565	千円 3,151,576	千円 6,204	千円 5,919

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、令和2年4月1日現在の人数である。また、会計年度任用職員を含まない。
 3 給与費については、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 （）書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。（補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率)/(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。）
 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

①給料表の見直し	実施
改定実施時期	平成27年4月1日
内容	給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。 激変緩和のため、3年間の経過措置（現給保障）を実施していたが、平成30年4月1日終了。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（3年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
紀の川市	43.4 歳	326,143 円	386,270 円	361,011 円
和歌山県	43.2 歳	324,048 円	414,707 円	363,010 円
国	43.0 歳	325,827 円	—	407,153 円
類似団体	42.3 歳	316,603 円	377,272 円	346,633 円

②技能労務職

区 分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	A/B
紀の川市	53.5 歳	24 人	353,800 円	400,561 円	384,670 円	—	—	—	—
うち清掃職員	53.0 歳	19 人	355,042 円	405,794 円	389,363 円	廃棄物処理業従事員	46.6 歳	304,600 円	1.33
うちその他	53.6 歳	5 人	349,080 円	380,900 円	366,920 円	調理士	43.8 歳	256,300 円	1.49
和歌山県	57.7 歳	26 人	329,235 円	352,636 円	345,645 円	—	—	—	—
国	50.9 歳	2,201 人	286,947 円	— 円	328,603 円	—	—	—	—
類似団体	51.9 歳	21 人	311,873 円	339,933 円	327,337 円	—	—	—	—

区 分	参考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
紀の川市	—	—	—
うち清掃職員	6,589,128 円	4,236,800 円	1.56
うちその他	6,203,300 円	3,416,100 円	1.82

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員 (C)」及び「民間 (D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 職員の初任給の状況（令和3年4月1日現在）

区 分	紀の川市	和歌山県	国
一般行政職	大 学 卒	182,200 円	188,700 円
	高 校 卒	150,600 円	150,600 円
技能労務職	高 校 卒	150,600 円	—
	中 学 卒	150,600 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和3年4月1日現在）

※ 一般行政職 経験年数10年、高校卒20年、技能労務職については、対象者が少数のため記載なし

区 分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	—	335,310 円	374,885 円
	高 校 卒	—	—	358,425 円
技能労務職	高 校 卒	—	—	—
	中 学 卒	—	—	—

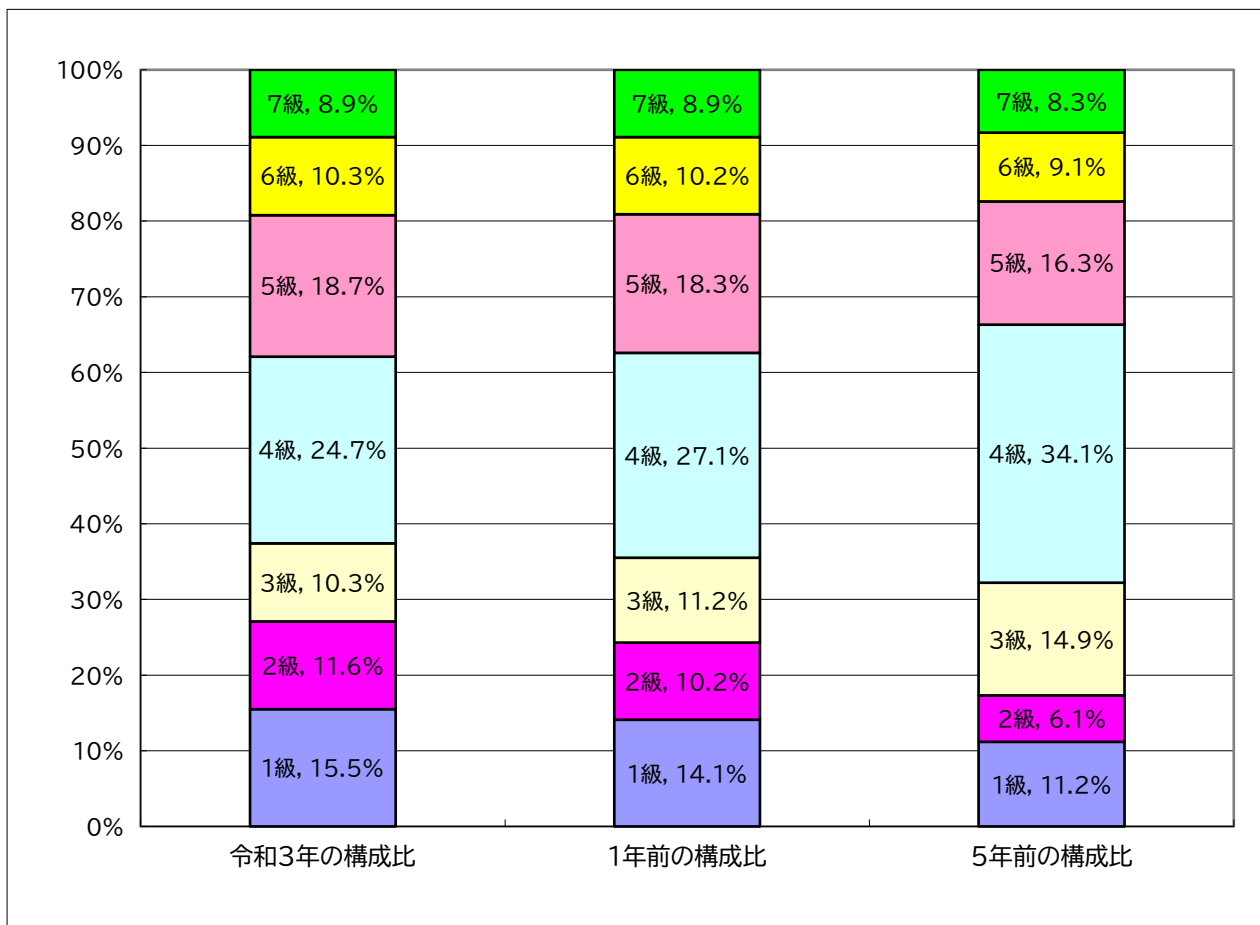
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（3年4月1日現在）

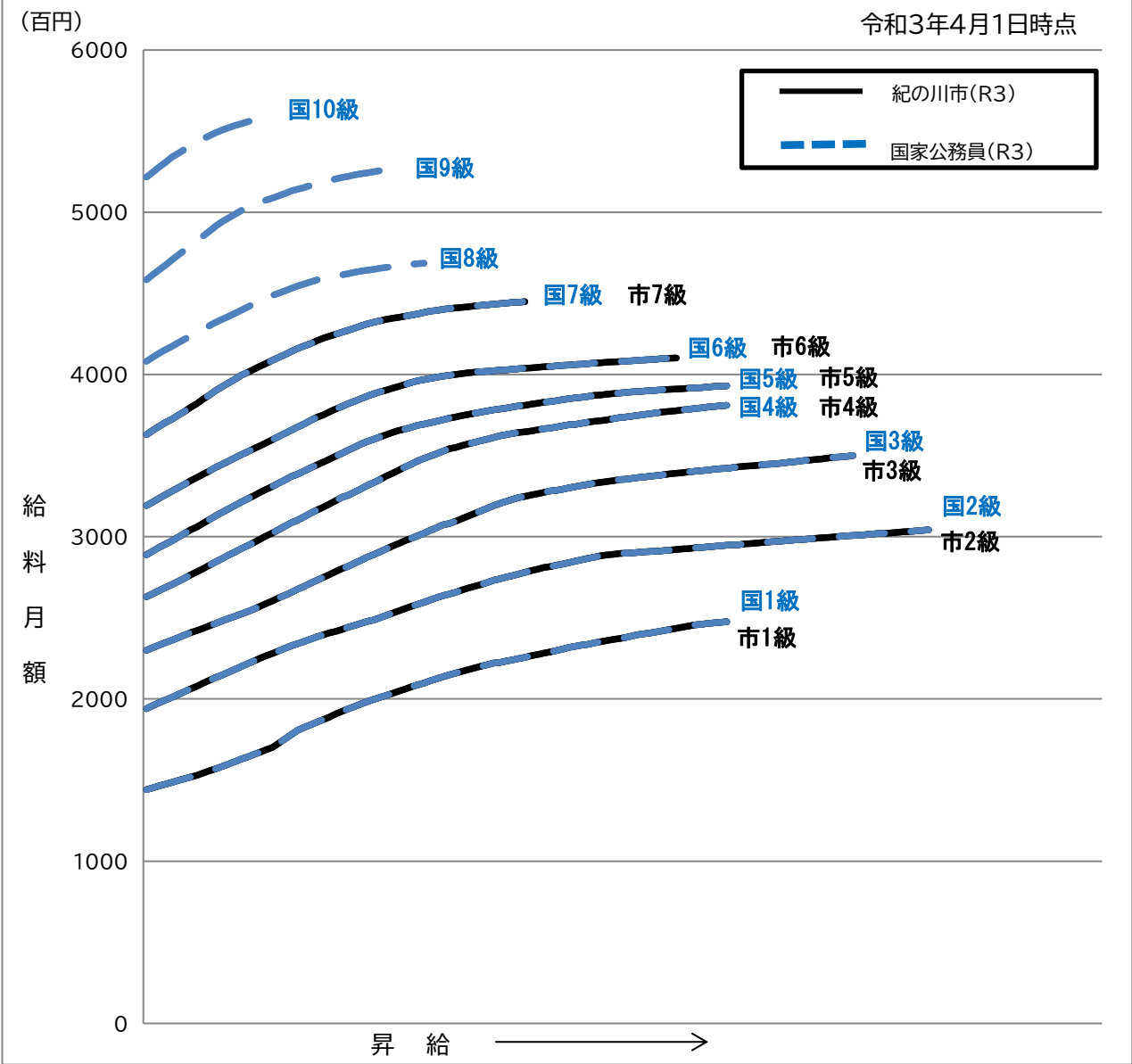
区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
7 級	部長、次長	34	8.9%	円 362,900	円 444,900
6 級	課長	39	10.3%	円 319,200	円 410,200
5 級	班長	71	18.7%	円 289,700	円 393,000
4 級	主任	94	24.7%	円 264,200	円 381,000
3 級	副主任	39	10.3%	円 231,500	円 350,000
2 級	主査、副主査	44	11.6%	円 195,500	円 304,200
1 級	主事	59	15.5%	円 146,100	円 247,600

(注) 1 紀の川市職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和3年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（紀の川市）

令和3年4月2日から令和4年4月1日までにおける運用		管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している		○		○	
活用している昇給区分		昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分		○	○	○	○
上位、標準の区分					
標準、下位の区分					
標準の区分のみ（一律）					
□ 人事評価を実施していない					
活用予定時期					

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

紀 の 川 市	和 歌 山 県	国
1人当たり平均支給額（2年度） 1,589 千円	1人当たり平均支給額（2年度） 1,641 千円	—
（2年度支給割合） 期末手当 勤勉手当 2.55 月分 1.9 月分 （ 1.45 ）月分 （ 0.9 ）月分	（2年度支給割合） 期末手当 勤勉手当 2.55 月分 1.9 月分 （ 1.45 ）月分 （ 0.9 ）月分	（2年度支給割合） 期末手当 勤勉手当 2.55 月分 1.9 月分 （ 1.45 ）月分 （ 0.9 ）月分
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～15%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20% 管理職加算 10～20%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20% 管理職加算 10～25%

（注）（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

令和3年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ（一律）				
□ 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当（3年4月1日現在）

紀 の 川 市			国		
（支給率）	自己都合	応募認定・定年	（支給率）	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.7090 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.7090 月分
最高限度額	47.7090 月分	47.7090 月分	最高限度額	47.7090 月分	47.7090 月分
その他の加算措置 （退職時特別昇給 無）	定年前早期退職特例 2%～45%加算		その他の加算措置 （退職時特別昇給 無）	定年前早期退職特例 2%～45%加算	
1人当たり平均支給額	-	19,919 千円			

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、2年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 紀の川市は非支給地域です

（3年4月1日現在）

支給実績（2年度決算）		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額元年度決算）		0 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
	%	人	%

(4) 特殊勤務手当 (3年4月1日現在)

支給実績 (2年度決算)	2,847 千円		
支給職員 1 人当たり平均支給年額 (2年度決算)	81,329 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合 (2年度)	6.9 %		
手当の種類 (手当数)	5		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症処理手当	作業従事職員	感染症発生による防疫作業	作業従事 1 回につき1,000円
行旅病人及び死亡人取扱手当	作業従事職員	行旅病人、死亡人の取り扱い業務	作業従事 1 回につき病人1,000円、死亡人2,000円
動物の死体処理手当	作業従事職員	動物の死体処理	作業従事 1 回につき1,000円
清掃業務手当	作業従事職員	一般廃棄物の収集、処理業務	日額500円
災害応急作業等手当	排水ポンプ車操作員	排水ポンプ車の操作	作業従事1日につき1,000円 勤務時間により500円の加算有り

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (2年度決算)	75,165 千円
職員 1 人当たり平均支給年額 (2年度決算)	271 千円
支給実績 (元年度決算)	123,004 千円
職員 1 人当たり平均支給年額 (元年度決算)	356 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

(6) その他の手当 (3年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (2年度決算)	支給職員 1 人当たり平均支給年額 (2年度決算)
扶養手当	1 配偶者 6,500円 2 子 10,000円 3 上記以外の扶養親族 6,500円 4 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子 5,000円加算	同じ		63,708 千円	252,810
住居手当	住居を借り受け月額が16,000円を超える家賃を支払っている職員 (借家) 最高28,000円	同じ		12,451 千円	259,395
通勤手当	通勤距離が片道 2 k m 以上で、交通機関を利用し、あるいは交通用具を使用して通勤している職員 限度額 55,000円	同じ		27,453 千円	64,900
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に定額を支給 (30,000円～60,000円)	異なる	支給額	79,010 千円	443,876
宿日直手当	宿日直勤務を命ぜられた職員が勤務した場合支給 一般の宿日直 4,400円 年末年始 8,800円	異なる	年末年始の支給額	1,690 千円	4,616

※支給実績は普通会計決算額

5 特別職の報酬等の状況（3年4月1日現在）

区 分				給 料	月 額	等
給 料	市 長			805,100 円	類似団体内の最高額/最低額	
	副 市 長			679,000 円	1,000,000円/454,500円	
	教 育 長			611,100 円	802,000円/585,000円	
					-/-	
報 酬	議 長			460,000 円	550,000円/347,900円	
	副 議 長			410,000 円	500,000円/285,100円	
	議 員			370,000 円	470,000円/268,200円	
期 末 手 当	市 長			(2 年度支給割合)		
	副 市 長					
	教 育 長			3.35 月分		
	議 長			(2 年度支給割合)		
	副 議 長			4.45 月分		
	議 員					
退 職 手 当	市 長			(算定方式)	(1 期の手当額)	(支給時期)
	市 長			8 0 5 , 1 0 0 円×在職月数×4 3 . 3 / 1 0 0	16,733,198 円	任期毎又は退職時
	副 市 長			6 7 9 , 0 0 0 円×在職月数×2 5 . 8 / 1 0 0	8,408,736 円	任期毎又は退職時
	教 育 長			6 1 1 , 1 0 0 円×在職月数×2 0 . 8 / 1 0 0	4,575,916 円	任期毎又は退職時
	備 考					

※退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（市長及び副市長は4年＝48月、教育長は3年＝36月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

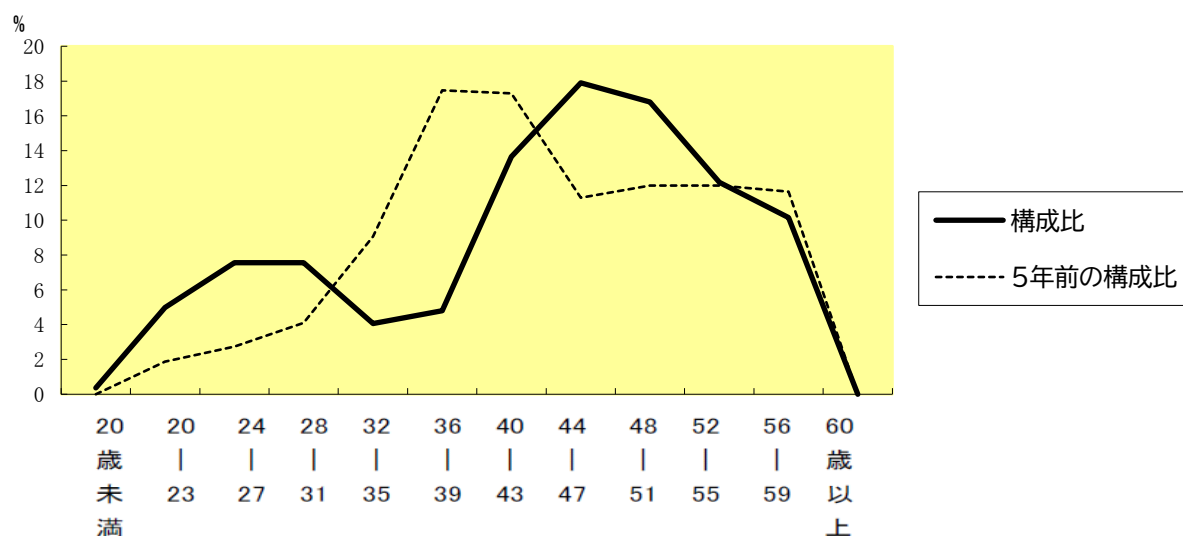
区 分			職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
部 門			令和2年	令和3年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	6	6	0	事業拡大による増
		総 務	119	121	2	
		税 務	30	30	0	
		労 働	4	4	0	機構改革による減
		民 生	123	122	▲1	
		衛 生	52	52	0	
		農 林	45	42	▲3	業務量平準化による減
		商 工	14	13	▲1	
		土 木	27	27	0	
	小 計		420	417	▲3	<参考> 人口1万人当たりの職員数 68人
	教 育		56	58	2	事業拡大による増
	消 防		0	0	0	
	小 計		476	475	▲1	

公 営 会 計 企 業 部 門	病院	0	0	0	人事異動に伴う減
	水 道	20	20	0	
	下水道	8	8	0	
	その他	41	39	▲ 2	
	小 計	69	67	▲ 2	
合 計		545 [731]	542 [731]	▲ 3 [731]	<参考> 人口 1 万人当たりの職員数 88人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (3 年 4 月 1 日現在)



区 分	20歳 未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	2人	27人	41人	41人	22人	26人	74人	97人	91人	66人	55人	0人	542人

(3) 職員数の推移

(単位: 人・%)

部門 \ 年度	28年	29年	30年	元年	2年	3年	過去5年間の増減数(率)	
一般行政	426	432	425	425	420	417	▲ 9	-2.1%
教 育	61	57	55	55	56	58	▲ 3	-4.9%
消 防	-	-	-	-	-	-	-	-
普通会計計	487	489	480	480	476	475	▲ 12	-2.5%
公営企業	60	61	67	67	69	67	7	11.7%
計	568	547	547	547	545	542	▲ 26	-4.6%

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B / A	(参考) 元年度の総費用に占 める職員給与費比率
2 年度	千円 1,305,871	千円 287,969	千円 123,034	% 9.4	% 10.3

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費を含まない。

区 分	職員数	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 市普通会計 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
2 年度	人 21	千円 82,290	千円 12,775	千円 33,886	千円 128,951	千円 6,141	千円 6,204

(注) 1 職員手当には退職手当及び児童手当を含まない。

2 職員数は、3 年 3 月 31 日現在の人数である。また、会計年度任用職員を含まない。

3 給与費については、会計年度任用職員を含まない。

イ 特記事項

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（3 年 4 月 1 日現在）

区 分	平 均 年 齢	基本給	平均月収額
水道事業	42.7 歳	338,533 円	381,729 円
市一般行政職	43.4 歳	347,143 円	386,270 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含まない。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

紀の川市水道事業		紀の川市（一般行政職）	
1人当たり平均支給額（2年度）		1人当たり平均支給額（2年度）	
1,583 千円		1,589 千円	
（2年度支給割合）		（2年度支給割合）	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.55 月分	1.90 月分	2.55 月分	1.90 月分
（ 1.45 ）月分	（ 0.90 ）月分	（ 1.45 ）月分	（ 0.90 ）月分
（加算措置の状況）		（加算措置の状況）	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
役職加算 5～15%		役職加算 5～15%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（3 年 4 月 1 日現在）

紀の川市水道事業			紀の川市（一般行政職）		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続 20 年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続 20 年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続 25 年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続 25 年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続 35 年	39.7575 月分	47.7090 月分	勤続 35 年	39.7575 月分	47.7090 月分
最高限度額	47.7090 月分	47.7090 月分	最高限度額	47.7090 月分	47.7090 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例	2 % ～ 4.5 % 加算	その他の加算措置	定年前早期退職特例	2 % ～ 4.5 % 加算
(退職時特別昇給	無)		(退職時特別昇給	無)	
1 人当たり平均支給額	- 千円	- 千円	1 人当たり平均支給額	- 千円	19,919 千円

(注) 退職手当の 1 人当たり平均支給額は、2 年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当 紀の川市は非支給地域です
(3年4月1日現在)

支給実績(2年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(2年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
	%	人	%

エ 特殊勤務手当(3年4月1日現在) 合併時から廃止しています

支給実績(2年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(2年度決算)			円
職員全体に占める手当支給職員の割合(2年度)			%
手当の種類(手当数)			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価

オ 時間外勤務手当

支給実績(2年度決算)	4,463 千円
職員1人当たり平均支給年額(2年度決算)	372 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当(3年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職 の制度との異 同	一般行政職 の制度と異なる 内容	支給実績 (2年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (2年度決算)
扶養手当	1 配偶者 6,500円 2 子 3 上記以外の扶養親族 6,500円 4 満16歳から満22歳の子 5,000円加算	同じ		4,574 千円	326,714
住居手当	住居を借り受け月額が 16,000円を超える家賃を 支払っている職員 (借家) 最高28,000円	同じ		1,178 千円	392,666
通勤手当	通勤距離が片道2km以上 で、交通機関を利用し、あ るいは交通用具を使用し て通勤している職員 限度額 55,000円	同じ		1,670 千円	104,375
管理職手当	管理又は監督の地位にあ る職員に定額を支給 (30,000円～60,000円)	同じ		5,250 千円	583,333